



特集 平成 28 年度版教科書のご紹介

巻頭言 Post 3.11 の社会と私たち—今、どのような力が求められるのか／成田喜一郎 ②

平成 28 年度版「中学社会」の特色 編集部 ⑥

社会科教育法 高度な集団学習—学び合い・言語活動／溜池善裕 ⑭

教育出版

Post 3.11の社会と私たち —今、どのような力が求められるのか—

成田 喜一郎

●なりた きいちろう／東京学芸大学教授

●1. Post 3.11の社会で求められる力

Post 3.11, 東日本大震災・原発事故後の社会において、今、社会科を学ぶ中学生のみなさんはもちろん、私たち大人にも求められるのは、いったいどのような力なのでしょう。

この問いの答えは決して一つではなく、複数の解があるのではないかと考えています。決まりきった正解などはないと思います。しかし、今、もし私がその問いに応答するとしたら、それはメディア・リテラシーだと答えたいと思います。

このメディア・リテラシーとは、どのような力なのでしょう。

メディア・リテラシーとは、私たちが教科書や授業をはじめ、多様なメディアから伝えられる情報に日々接する中で、常にクリティカル・シンキングを大切にし、多様なメディアを生かしながらコミュニケーションを創りだす力のことです。²そして、その対象となるメディアとは、書籍や雑誌・新聞などの文字情報だけではなく、テレビ・ラジオ、映画やビデオ、写真・造形などの非文字情報、そして、インターネット上のWeb PageやBlog, Twitter, facebook, LINEほかSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)が媒介する電子情報などを含みます。

それでは、なぜ、メディア・リテラシーが求められるのでしょうか。

Post 3.11の社会的文脈に沿って、その理由を探ってみたいと思います。

●2. 東日本大震災・原発事故の記憶と記録

2011年3月11日(金)14時46分、マグニチュード9.0の巨大地震が起きました。そして、それは、巨大津波による激甚災害、さらに福島第一原子力発電所の事故による原子力災害をもたらし、福島県・宮城県・岩手県を中心とする東日本に暮らしていた人々を震災・津波・原発事故被害の当事者にしました。

みなさんは、あの日、あの時、どこにいたのでしょうか。

東京・小金井市にある大学にいた私は、ちょうど、研究室で二人の来客とお話をしていました。今までに体験したことのない揺れ(震度5弱)に来客とともに屋外避難をしなければなりません。余震を含め2度ほど大きな揺れのあと、大学の本部から耐震改修前の建造物のため危険だとされ、私の研究室のある研究棟へは立入禁止になってしまいました。その後、二人の来客と別れたあと、大学から13km離れた附属学校の校長・出口利定教授(現学長)が、今から生徒や教職員のいる学校に向かうと言うので、私も一緒に車に向かいました。幸い私の自宅は附属学校の近くにあったので、私は、その日のうちに自宅に戻ることができました。

自宅に帰ったその晩から土・日曜日とテレビを見て愕然としました。今までに見たことのない

震災被害、そして巨大津波や火災の様子が繰り返し報じられていました。

私は、自宅で大学の教職員と連絡を取りながら、学生の安否確認を行いました。大学の授業は終わり、郷里に帰っている学生たちもいたからです。東北地方出身者も複数名いたため、電話やメールで確認しようとしたのですが、いずれも連絡がつかませんでした。岩手県出身のある学生の安否確認ができたのは、学生たちが行っていたfacebookを通じてでした。初めてSNSの力を知った思いでした。私の所属する専攻の学生たちの無事はすべて確認されましたが、ただ一人、実家が丸ごと津波に流されてしまった学生がいたこともわかりました。

そして、3月12日(土)に東京電力福島第一原子力発電所一号機が、14日(月)に三号機が水素爆発し、16日(水)には四号機が火災を起こしました。震災・津波、そして原発事故、その後いったい何が起きているのか、新聞やテレビの報道を通じて伝えられる公式発表だけではわからない「事実」があるのではないかと感じました。

そこで、2010年12月から始めていたTwitterに加えて、私は3月14日からfacebookを始め、さまざまな情報収集に努めていきました。当時、「緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム(SPEEDI)」のデータが公表されなかったため、放射性物質が飛散する方向に避難・誘導された人々がいましたが、TwitterなどのSNSにはフランスをはじめとする海外情報から放射線被曝のシミュレーションが流れてきました。SNSは、確かに「風評被害」をもたらすという側面もありますが、発表されない、報道されない

「情報」も提供してくれるのも事実です。のちにSPEEDIの情報が公開されましたが、当時、Twitterの海外情報はデマや風評などではなかったこともわかりました。SNSは、人々の噂の広がり比べ、すばやく風評をまき散らすこともあると同時に、誤りやデマを駆逐するスピードも早いと言われています。

●3. 多様なメディアに触れる

あれから4年が経ち、震災・原発事故の被災地や被害者に関する報道は減少し、被害も収まってきているかのように思われます。果たして、それは、「事実」でしょうか。

私たちが常日頃目にしている新聞やテレビなどから流れてくる報道においては、まぎれもない「事実」です。それは、その発信者によって選択されたり、ある部分を切り取られたりした「事実」であることもしばしばです。報道されない「事実」があることを忘れてはなりません。

福島県には『福島民友』『福島民報』という地方新聞がありますが、ここには「放射線に関する相談窓口」(2015年2月1日付け『福島民友』)など東日本大震災生活関連情報が毎月第1日曜日に掲載され、「第2部 営業損害(15)園児半減経営を圧迫『地域が破壊された』」(同年2月17日付け『福島民報』)など原発事故・大震災ニュースが掲載され続けています。震災・原発事故被害の当事者にとっては、今もなお「日常」であり、毎年の3月11日ごとにめぐってくる「出来事」などではありません。

私たちが毎日目にしている新聞やテレビも各社で取り上げられる「情報」(記事やニュース番組)とその取り上げ方も異なります。東京に住む私は、学生たちに『朝日新聞』『産経新聞』『東

京新聞』『日本経済新聞』『毎日新聞』『読売新聞』（6紙）の新聞比較読みを薦めています。今、新聞を定期購読している学生（ご家庭）は多くはありません。そんな状況下で、毎日読めとはとても言えません。そこで、大きな事件や事故があった日にどの新聞もこぞって一面でその事件・事故を取り上げるような日の比較読み、また、特に何でもない日に各紙が一面で取り上げる記事も多様である日の比較読みです。そして、その比較から何が見えてくるか、その事実と考察を書くレポートを書かせています。

また、新聞やテレビには取り上げられない、facebookやTwitterなどSNSのもたらす「情報」にも目を向ける必要もあります。現在、私は、2011年6月から関わりをもった福島県いわき市在住の研究者・布施雅彦さんのfacebookの愛読者です。facebookの多くは、一般に他愛ない日常の記事がほとんどですが、その筋の専門家が開くfacebookやTwitterのタイムラインには、貴重な情報がすばやく流れてきます。大切なことは誰を「フォロー」し、誰と「友達」になるかです。

さらに、3.11震災・原発事故以後、再発見したのはラジオです。私がしばしば聴くことができるのは、「JAM THE WORLD」（J-WAVE、月～金2000-2150）、「Time Line」（TOKYO FM、月～木1900-1952）などです。これらの番組は、曜日によってナビゲーターが異なり、新聞やテレビにはなかなか登場してこないジャーナリストや専門家がその時々「時事問題」についてさまざまな角度からホットな情報を提供してくれるのです。

そして、私が何よりも大切にしてきたことは、

多様なメディアからさまざまな情報を得るだけでなく、被災された当事者と直接コミュニケーションすることでした。

その一つが、2011年6月にネット検索をしていたとき、偶然見つけたWeb Site「いわきの子どもを守るネットワーク」の代表・團野和美さんをはじめ、子どもをもつ父母を中心とする市民の方々との出会いです。震災・原発事故から1年後の2012年3月には、團野和美さんをはじめ会員の方々に直接会いに行きました。当日は、メンバーのお一人・二兄の父親である木村宣親さんの車で福島第一原発から約20キロ南にある原発事故の対応拠点・Jビレッジ付近まで行き、帰路は薄磯海岸・豊間中学校の津波被害の実際などを案内していただきました。また、メンバーのお一人だった三兄の母親である山田亜希子さんは、震災・原発事故後半年を振り返って当事者記録として「東日本大震災レポート～我が家の場合～」³を書かれています。

●4. 身近なメディアの中の落とし穴

震災・原発事故から4年目の今年もWeb上に「【画像まとめ】東北大震災から4年、地震・津波の忘れえぬ恐怖の記録Ⅲ」という画像集録サイトがアップされました。その中に「東北大震災 親子のLINEでの会話…娘はもう（涙）。」⁴という画像があります。この画像には、「お母さんどこにいるの？結衣どーしたらいい…家の中どんどん水だらけになってきて、結衣ながされちゃうよ。ねえ、お母さん早く帰ってきて、すごい揺れてるよ。まだ死にたくない」「お母さんは無事よ 結衣のこと助けに行くから待ってて 大丈夫よ！」という涙を誘うLINE上の親子の会話があります。しかし、この娘がLINEに

書き込んだ時間[14:46]とあり、母の返信が[14:48]とあります。東日本大震災の発生は確かに14時46分ですが、気象庁「災害時地震・津波速報 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」によると、津波は、いわき市小名浜で15時8分に+260cmの津波が押し寄せており、岩手県大船渡市で15時18分に80m以上、福島県相馬市で15時51分に95m以上の津波を観測しています。いずれにしても地震発生時刻の14:46に津波が襲来した観測データはありません。果たしてこの親子の会話は本物なのでしょうか。この画像は、人々の同情を誘い「震災を忘れまい」とする善意を裏切るフィクションである可能性があります。情報をクリティカルに読み解くことはきわめて重要なのです。

●5. メディア・リテラシーの育成と社会科教科書
これまでPost 3.11の社会的文脈の中でメディア・リテラシーの必要性について述べてきました。

それでは、どうすればメディア・リテラシーの力が身に付くのでしょうか。

その基本は、社会科教科書にあります。たとえば、平成28年度版「公民」教科書を開いてみると、次のようなページに出会います。

・「公民の学習を始めるにあたって」→「メディア」の情報の活用(口絵4)

・「公民にアプローチ～新聞を活用しよう～」(pp.6-9)

・「情報を活用するために」(pp.30-31)

・「公民の窓：有害情報の規制か、表現の自由か」(p.43)

・「言葉で伝え合おう・ディベート『犯罪の防止か、プライバシーの保護か』」(pp.58-59)

・「マスメディアと政治」(pp.80-81)

・「まちづくりのアイデアを提言しよう」→「地域の広報紙などから情報を得る」(p.114)

・「福祉の課題を追究しよう」→「資料の収集と読み取り」(p.166)

・「持続可能な未来のために」→「『未来への私の約束』をつくろう」(pp.210-211)

そして、社会科を学ぶためにはもちろん、持続可能な未来を生きるために必要なさまざまな情報を収集し、クリティカル・シンキングをもとに読み取り、活用していこうとすると、まさに基本情報は教科書にあると言っても過言ではありません。

1 教育出版・平成28年度版公民教科書『『クリティカル・シンキング』って何だろう』(p.31)を参照。
2 鈴木みどり編『メディア・リテラシーを学ぶ人のために』(世界思想社、1997)には、「メディア・リテラシーとは、市民がメディアを社会的文脈でクリティカルに分析し、評価し、メディアにアクセスし、多様な形態でコミュニケーションを創りだす力を指す」(p.8)とある。

3 当事者記録「東日本大震災レポート～我が家の場合～」ダウンロード可。：http://alios-style.jp/cd/app/index.cgi?C=blog&H=default&D=01048 (2015/02/18 取得)

4 「親子のLINEでの会話」：http://matome.naver.jp/odai/2130141960562750001/2138648443040508203 (2015/02/18 取得)

参考文献

成田喜一郎「東日本大震災・原発事故と私たちの『記憶と記録』：ともに『違和感』を超えて」(『東日本大震災と東京学芸大学』東京学芸大学出版会、2013、pp.90-102)

平成 28 年度版

「中学社会」 の 特色

編集の基本方針

社会とつながる自己を見つめ、市民社会を
ともに創造する子どもの育成

学習指導要領の趣旨のより確実な実現と、
社会の諸変化への対応を図るべく改訂した新
版「中学社会」。

ここでは、その主な特色を、紙面とともに
ご紹介します。

特色

1

学習の流れがとらえやすく、
情報量とビジュアル性のバランスが
さらに向上した紙面構成

各コーナーや活動を明確に位置づけるなど、わかりやすく学びやすい紙
面にすることで、確かな学力の獲得を促します。

また、色覚の特性に配慮した「カラーユニバーサルデザイン」に基づく
デザインと配色など、紙面のユニバーサルデザイン化にも取り組み、すべ
ての生徒の学びを支えます。

学習課題

見通しをもって
学習に取り組める
「学習課題」

これからの1時間の学習で、
何について追究していくの
かを明確に示します。

内容理解を促す
読みやすい書体

教科書中のほぼすべての文
字で、「より多くの人に読
みやすく理解しやすいこ
と」を目的に開発された書
体、ユニバーサルデザイン・
フォントを使用しています。

6

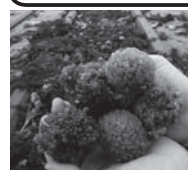
東北地方
生活・文化を中心に考えよう



① 曲げわっぱの製作の様子(秋田県大館市)

① 豊かな文化を育んだ地域 ▶ 東北地方をながめて

学習課題 東北地方には、どのような伝統的な文化がみられるでしょうか。



② 海岸に打ち寄せられた
ブリコ(秋田県秋田市)



③ 宮城県仙台市の中心部
東北地方の中心であり、福島県北部や
山形県村山地方までを含む大都市圏を
つづけています。

秋田音頭の歌詞から、秋田の自然、人々の生
活、伝統文化をみつけることができます。大
館市の曲げわっぱは秋田杉を利用した器です。八森のはたはた
とは、男鹿半島の沖で水揚げされる魚のことで、ブリコは、
はたはたの卵です。冬の初め、はたはたが大量にとれると、米と
ともに漬け込んだり、魚を発酵させてつくる醤油(魚醤油)に加工
したりします。秋田音頭は、歌い出し以外には旋律がないこと
が特徴で、生活を歌い込んだ歌詞と独特の踊りによって、秋田
藩の城下町で流行したといわれています。

江戸時代、東北地方には秋田藩、盛岡藩、米
沢藩、仙台藩などがありました。仙台市をは
じめ、現在の人口10万人以上の都市の多くが、城下町から発
展しました。明治時代に入り、政府の軍隊を構成する組織など
がおかれた仙台市は、東北地方の中心都市として発達しました。
今日では、東北自動車道や東北新幹線などにより首都圏とも結

226 ● 第3章 日本の諸地域

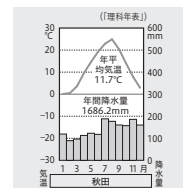
見てみよう『コラ 秋田名物
八森のはたはた 男鹿で男鹿ブリコ 鹿代
春鹿 松山餅豆 大館曲げわっぱ
コラ 太平山から四方の景色を の
ぞいて見たならば 船は沢山大漁万
作 秋田は大繁盛(中略)
コラ 秋田の名所 海では男鹿島
山では鳥海山 田沢の緑に十和田の
紅葉 絵描きも筆投げた』

これは秋田県民謡「秋田音頭」の
歌詞です。どのような内容が歌われ
ているのか、歌詞をていねいに読ん
でみましょう。

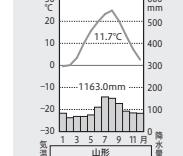
いろいろな地名が
入っているね。



④ 岩手山(岩手県)



⑤ 東北地方の気候と
降水量のグラフ



⑥ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑦ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑧ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑨ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑩ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑪ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑫ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑬ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑭ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑮ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑯ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑰ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑱ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑲ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

⑳ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉑ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉒ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉓ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉔ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉕ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉖ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉗ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉘ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉙ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉚ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉛ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉜ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉝ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉞ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㉟ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㊱ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

㊲ 東北地方の気候と
降水量のグラフ

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145

▶関連ページ (日本の地形)p.141、(日本の気候)p.144-145



読み解こう

思考力を育てる
「読み解こう」

多様な資料を活用し、考
察する言語活動を重視し
ています。

学習課題に対応した
「ふりかえる」

◆振り返って確かめる
「ステップ1」

本時で学習したことを整
理し、確認します。

◆さらに理解を深める
「ステップ2」

学習したことを活用して、
自分の言葉で表現する、
言語活動を行います。

読み解こう

①火山は、東北地方のどの辺り
に位置しているか確かめよう。
②日本海側と太平洋側の海岸地
形の違いを、文章にしてみよう。
③県どうしの境界線は、主にど
のような場所を通っているか確
かめよう。

ふりかえる

①秋田音頭はいつごろで
きた民謡か、確かめよう。
②東北地方の海岸の地形の
違いを書き表そう。

地理 p.226-227

ふりかえる



特色

3

思考力・判断力・表現力を育む言語活動

基礎・基本の確実な定着から、言語活動への段階的なステップで、生徒の思考力・判断力・表現力を育むとともに、より深い内容理解を促します。



地理 p.23, 歴史 p.131, 公民 p.33

各章の「とびら」では、その章の学習内容をイメージできる資料を掲載し、興味・関心をもって学習に取り組んでいくことができるように工夫しました。

「学習課題」に対応した「ふりかえる」や「読み解こう」などのコーナーは、毎時間の学習の中で、自分の言葉で表現することを通して、基礎・基本を確実に定着させるとともに、思考力・判断力・表現力を育むことができるよう工夫しました。

学習課題 自然災害から身を守るために、国や県、地域社会ではどのような努力がなされているのだろうか。

学習課題 経済におけるグローバル化は、私たちの社会にとってどのような意味があるのでしょうか。

ふりかえる
ステップ1 身近な地域のハザードマップを入手して、どんな災害を予測するためのものが、確かめよう。
ステップ2 身近な地域でこれまでに起きた災害の一つを選び、その記録を参考にして、今後どのような対策が必要かまとめよう。

ふりかえる
ステップ1 グローバル化の影響で、国境を越えて自由に移動するようになったものには何があるか、確かめよう。
ステップ2 経済がグローバル化することの長所と短所を、それぞれ整理して説明してみよう。

読み解こう
① 目の絵で、働く人たちは、それぞれどのような作業をしているだろう。
② 120ページの「木綿の機械」をする農家と比べて、生産方法にどのような違いがあるだろう。
③ それぞれの生産方法の利点を説明してみよう。

次章へ

章の導入

学習活動

学習の流れを意識した構成
(3分野共通)

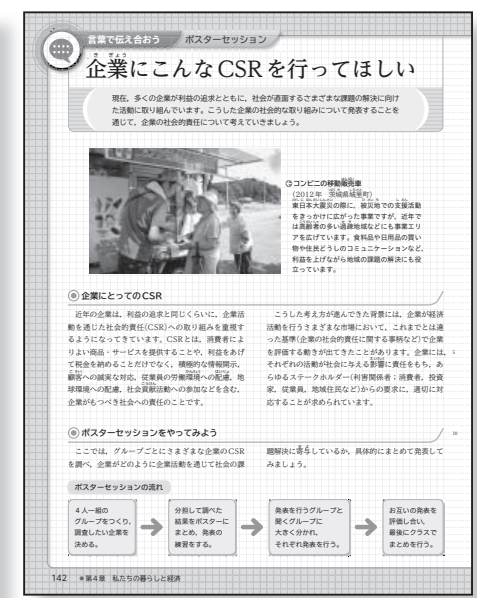
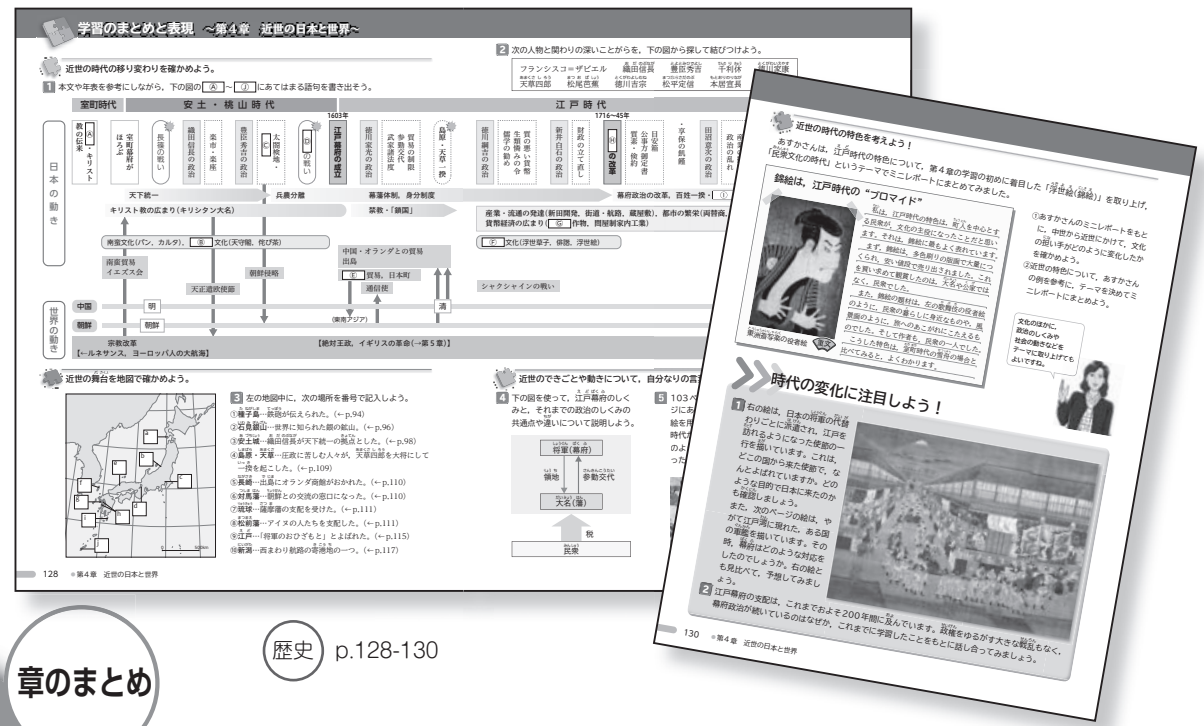
章のまとめ

章全体の学習をまとめる「学習のまとめと表現」では、考察・表現する活動を取り入れ、学習した知識や思考の過程を再確認することができるようにしています。

特設ページには、地域の事例や資料を読み深めて思考力を高めるページや、伝え合う活動を通じて表現力を高めることができるページも用意しました。

公民 p.142

地理 p.198



特色

4

社会と関わり続ける力の育成

教育基本法や学習指導要領の趣旨に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう、構成を工夫しました。

公民の「終章：私たちにできること」をゴールに見据え、地理・歴史・公民の各分野の特性に合わせて、学習した内容をもとに社会との関わりを意識できる構成になっています。

地理

地理：学習で身につけた技能を生かして、地域を調査し、レポートにまとめたり、地域にむけて発信したりする活動。

ポイント1

課題の解決に向けて具体的に考える

近頃、「P・D・C・A」計画（Plan）・実行（Do）・点検（Check）・改善（Action）というサイクルで、組織や個人の活動の改善を高めるという考え方が、自治体や企業を中心に広がっています。私たちが「未来への私の約束」をつくるにあたって、この考え方を取り入れて進めたいことができます。しかし、いかなる計画（Plan）を立ててどこから始めるのが良いのか、まずはどこから始めるべきでしょうか。そのCとDは、課題について点検（Check）することと同時に、課題の現状や改善を把握（Catch）するということです。そして、持続可能な未来のためにどのように改善（Action）していけばよいかを考え、「未来への私の約束」として計画（Plan）を立てて、まわりの人たちに提案（Product）していきましょう。さらに、持続可能な未来という山の頂（C・A・P）を目指した行動（Do）に、結び付けて考えてみましょう。

②「未来への私の約束」をつくろう ▶ 見通しをもつてくつくと

学習課題 「未来への私の約束」を実際に書いていくためには、どうしたらよいでしょうか。

ポイント2

「未来への私の約束」の作成の主な流れ

これまでの公民の学習でつくった「ノート」をはじめ、他分野、他教科などの学習を振り返り、持続可能な未来を掲げるさまざまな課題（→p.209「国語」など）の中から、自分にとって最も切実だと思ふ課題を選んでみよう。

ポイント3

テーマを決定する際の視点

「Think globally, act locally」「Think locally, act globally」(地域を考えた地球規模の行動をするという考え方や、参考にしてみよう。課題には、地球規模で存在するものから身近な地域にあるものまで、さまざまなものがあります。私たちの暮らしや身近な行動が及ぼす影響を考えると、また、パナヤスび、国際連帯のネットワークなど、身近な生活で使う機器やペーパー、プラスチックなどから出るゴミ、それにかかわる人や、自然環境とのつながりを意識しながら、「もの」にもつながってみたい。

ポイント4

「未来への私の約束」の作成の主な流れ

①【作品タイトル】「未来への私の約束—(副題)—」など、主題と

ポイント5

「未来への私の約束」の作成の主な流れ

②【理由・根拠】持続可能な未来を掲げる課題が、具体的にどれだけ深刻なのかを示す。理由や根拠を示そう。

③【本質的で決定的な問い】「生命とは何か」「平和とは何か」「人間とは何か」「豊かとは何か」「安全とは何か」「文化の多様性とは何か」「民主主義とは何か」など、取り上げたテーマについての本質的で決定的な問いの大切さを意識しながら、自分の考えを表現しよう。

④【約束】「約束」をクラスで集め、「3年〇組の未来への約束案」を作ろう。

⑤【約束】「約束」をクラスで集め、「3年〇組の未来への約束案」を作ろう。

ポイント6

「未来への私の約束」の作成の主な流れ

⑥【約束】「約束」をクラスで集め、「3年〇組の未来への約束案」を作ろう。

公民 p.210-211, 213

公民的資質の育成と、社会参画への意欲の醸成

地理 p.260-261

歴史 p.252-253

ポイント1

地域の商店街を調べよう ▶ 班別調査(2)

調査のポイント

① 商店街の歴史や特徴を調べる。② 商店街の現状を調べる。③ 商店街の将来を調べる。④ 商店街の魅力を調べる。⑤ 商店街の課題を調べる。⑥ 商店街の魅力を伝える。⑦ 商店街の課題を解決する。⑧ 商店街の魅力を伝える。⑨ 商店街の課題を解決する。⑩ 商店街の魅力を伝える。⑪ 商店街の課題を解決する。⑫ 商店街の魅力を伝える。⑬ 商店街の課題を解決する。⑭ 商店街の魅力を伝える。⑮ 商店街の課題を解決する。⑯ 商店街の魅力を伝える。⑰ 商店街の課題を解決する。⑱ 商店街の魅力を伝える。⑲ 商店街の課題を解決する。⑳ 商店街の魅力を伝える。㉑ 商店街の課題を解決する。㉒ 商店街の魅力を伝える。㉓ 商店街の課題を解決する。㉔ 商店街の魅力を伝える。㉕ 商店街の課題を解決する。㉖ 商店街の魅力を伝える。㉗ 商店街の課題を解決する。㉘ 商店街の魅力を伝える。㉙ 商店街の課題を解決する。㉚ 商店街の魅力を伝える。㉛ 商店街の課題を解決する。㉜ 商店街の魅力を伝える。㉝ 商店街の課題を解決する。㉞ 商店街の魅力を伝える。㉟ 商店街の課題を解決する。㊱ 商店街の魅力を伝える。㊲ 商店街の課題を解決する。㊳ 商店街の魅力を伝える。㊴ 商店街の課題を解決する。㊵ 商店街の魅力を伝える。㊶ 商店街の課題を解決する。㊷ 商店街の魅力を伝える。㊸ 商店街の課題を解決する。㊹ 商店街の魅力を伝える。㊺ 商店街の課題を解決する。㊻ 商店街の魅力を伝える。㊼ 商店街の課題を解決する。㊽ 商店街の魅力を伝える。㊾ 商店街の課題を解決する。㊿ 商店街の魅力を伝える。

ポイント2

地域の商店街を調べよう ▶ 班別調査(2)

調査のポイント

① 商店街の歴史や特徴を調べる。② 商店街の現状を調べる。③ 商店街の将来を調べる。④ 商店街の魅力を調べる。⑤ 商店街の課題を調べる。⑥ 商店街の魅力を伝える。⑦ 商店街の課題を解決する。⑧ 商店街の魅力を伝える。⑨ 商店街の課題を解決する。⑩ 商店街の魅力を伝える。⑪ 商店街の課題を解決する。⑫ 商店街の魅力を伝える。⑬ 商店街の課題を解決する。⑭ 商店街の魅力を伝える。⑮ 商店街の課題を解決する。⑯ 商店街の魅力を伝える。⑰ 商店街の課題を解決する。⑱ 商店街の魅力を伝える。⑲ 商店街の課題を解決する。⑳ 商店街の魅力を伝える。㉑ 商店街の課題を解決する。㉒ 商店街の魅力を伝える。㉓ 商店街の課題を解決する。㉔ 商店街の魅力を伝える。㉕ 商店街の課題を解決する。㉖ 商店街の魅力を伝える。㉗ 商店街の課題を解決する。㉘ 商店街の魅力を伝える。㉙ 商店街の課題を解決する。㉚ 商店街の魅力を伝える。㉛ 商店街の課題を解決する。㉜ 商店街の魅力を伝える。㉝ 商店街の課題を解決する。㉞ 商店街の魅力を伝える。㉟ 商店街の課題を解決する。㊱ 商店街の魅力を伝える。㊲ 商店街の課題を解決する。㊳ 商店街の魅力を伝える。㊴ 商店街の課題を解決する。㊵ 商店街の魅力を伝える。㊶ 商店街の課題を解決する。㊷ 商店街の魅力を伝える。㊸ 商店街の課題を解決する。㊹ 商店街の魅力を伝える。㊺ 商店街の課題を解決する。㊻ 商店街の魅力を伝える。㊼ 商店街の課題を解決する。㊽ 商店街の魅力を伝える。㊾ 商店街の課題を解決する。㊿ 商店街の魅力を伝える。

ポイント3

地域の商店街を調べよう ▶ 班別調査(2)

調査のポイント

① 商店街の歴史や特徴を調べる。② 商店街の現状を調べる。③ 商店街の将来を調べる。④ 商店街の魅力を調べる。⑤ 商店街の課題を調べる。⑥ 商店街の魅力を伝える。⑦ 商店街の課題を解決する。⑧ 商店街の魅力を伝える。⑨ 商店街の課題を解決する。⑩ 商店街の魅力を伝える。⑪ 商店街の課題を解決する。⑫ 商店街の魅力を伝える。⑬ 商店街の課題を解決する。⑭ 商店街の魅力を伝える。⑮ 商店街の課題を解決する。⑯ 商店街の魅力を伝える。⑰ 商店街の課題を解決する。⑱ 商店街の魅力を伝える。⑲ 商店街の課題を解決する。⑳ 商店街の魅力を伝える。㉑ 商店街の課題を解決する。㉒ 商店街の魅力を伝える。㉓ 商店街の課題を解決する。㉔ 商店街の魅力を伝える。㉕ 商店街の課題を解決する。㉖ 商店街の魅力を伝える。㉗ 商店街の課題を解決する。㉘ 商店街の魅力を伝える。㉙ 商店街の課題を解決する。㉚ 商店街の魅力を伝える。㉛ 商店街の課題を解決する。㉜ 商店街の魅力を伝える。㉝ 商店街の課題を解決する。㉞ 商店街の魅力を伝える。㉟ 商店街の課題を解決する。㊱ 商店街の魅力を伝える。㊲ 商店街の課題を解決する。㊳ 商店街の魅力を伝える。㊴ 商店街の課題を解決する。㊵ 商店街の魅力を伝える。㊶ 商店街の課題を解決する。㊷ 商店街の魅力を伝える。㊸ 商店街の課題を解決する。㊹ 商店街の魅力を伝える。㊺ 商店街の課題を解決する。㊻ 商店街の魅力を伝える。㊼ 商店街の課題を解決する。㊽ 商店街の魅力を伝える。㊾ 商店街の課題を解決する。㊿ 商店街の魅力を伝える。

ポイント4

地域の商店街を調べよう ▶ 班別調査(2)

調査のポイント

① 商店街の歴史や特徴を調べる。② 商店街の現状を調べる。③ 商店街の将来を調べる。④ 商店街の魅力を調べる。⑤ 商店街の課題を調べる。⑥ 商店街の魅力を伝える。⑦ 商店街の課題を解決する。⑧ 商店街の魅力を伝える。⑨ 商店街の課題を解決する。⑩ 商店街の魅力を伝える。⑪ 商店街の課題を解決する。⑫ 商店街の魅力を伝える。⑬ 商店街の課題を解決する。⑭ 商店街の魅力を伝える。⑮ 商店街の課題を解決する。⑯ 商店街の魅力を伝える。⑰ 商店街の課題を解決する。⑱ 商店街の魅力を伝える。⑲ 商店街の課題を解決する。⑳ 商店街の魅力を伝える。㉑ 商店街の課題を解決する。㉒ 商店街の魅力を伝える。㉓ 商店街の課題を解決する。㉔ 商店街の魅力を伝える。㉕ 商店街の課題を解決する。㉖ 商店街の魅力を伝える。㉗ 商店街の課題を解決する。㉘ 商店街の魅力を伝える。㉙ 商店街の課題を解決する。㉚ 商店街の魅力を伝える。㉛ 商店街の課題を解決する。㉜ 商店街の魅力を伝える。㉝ 商店街の課題を解決する。㉞ 商店街の魅力を伝える。㉟ 商店街の課題を解決する。㊱ 商店街の魅力を伝える。㊲ 商店街の課題を解決する。㊳ 商店街の魅力を伝える。㊴ 商店街の課題を解決する。㊵ 商店街の魅力を伝える。㊶ 商店街の課題を解決する。㊷ 商店街の魅力を伝える。㊸ 商店街の課題を解決する。㊹ 商店街の魅力を伝える。㊺ 商店街の課題を解決する。㊻ 商店街の魅力を伝える。㊼ 商店街の課題を解決する。㊽ 商店街の魅力を伝える。㊾ 商店街の課題を解決する。㊿ 商店街の魅力を伝える。

ポイント1

地域の商店街を調べよう ▶ 班別調査(2)

調査のポイント

① 商店街の歴史や特徴を調べる。② 商店街の現状を調べる。③ 商店街の将来を調べる。④ 商店街の魅力を調べる。⑤ 商店街の課題を調べる。⑥ 商店街の魅力を伝える。⑦ 商店街の課題を解決する。⑧ 商店街の魅力を伝える。⑨ 商店街の課題を解決する。⑩ 商店街の魅力を伝える。⑪ 商店街の課題を解決する。⑫ 商店街の魅力を伝える。⑬ 商店街の課題を解決する。⑭ 商店街の魅力を伝える。⑮ 商店街の課題を解決する。⑯ 商店街の魅力を伝える。⑰ 商店街の課題を解決する。⑱ 商店街の魅力を伝える。⑲ 商店街の課題を解決する。⑳ 商店街の魅力を伝える。㉑ 商店街の課題を解決する。㉒ 商店街の魅力を伝える。㉓ 商店街の課題を解決する。㉔ 商店街の魅力を伝える。㉕ 商店街の課題を解決する。㉖ 商店街の魅力を伝える。㉗ 商店街の課題を解決する。㉘ 商店街の魅力を伝える。㉙ 商店街の課題を解決する。㉚ 商店街の魅力を伝える。㉛ 商店街の課題を解決する。㉜ 商店街の魅力を伝える。㉝ 商店街の課題を解決する。㉞ 商店街の魅力を伝える。㉟ 商店街の課題を解決する。㊱ 商店街の魅力を伝える。㊲ 商店街の課題を解決する。㊳ 商店街の魅力を伝える。㊴ 商店街の課題を解決する。㊵ 商店街の魅力を伝える。㊶ 商店街の課題を解決する。㊷ 商店街の魅力を伝える。㊸ 商店街の課題を解決する。㊹ 商店街の魅力を伝える。㊺ 商店街の課題を解決する。㊻ 商店街の魅力を伝える。㊼ 商店街の課題を解決する。㊽ 商店街の魅力を伝える。㊾ 商店街の課題を解決する。㊿ 商店街の魅力を伝える。

ポイント2

地域の商店街を調べよう ▶ 班別調査(2)

調査のポイント

① 商店街の歴史や特徴を調べる。② 商店街の現状を調べる。③ 商店街の将来を調べる。④ 商店街の魅力を調べる。⑤ 商店街の課題を調べる。⑥ 商店街の魅力を伝える。⑦ 商店街の課題を解決する。⑧ 商店街の魅力を伝える。⑨ 商店街の課題を解決する。⑩ 商店街の魅力を伝える。⑪ 商店街の課題を解決する。⑫ 商店街の魅力を伝える。⑬ 商店街の課題を解決する。⑭ 商店街の魅力を伝える。⑮ 商店街の課題を解決する。⑯ 商店街の魅力を伝える。⑰ 商店街の課題を解決する。⑱ 商店街の魅力を伝える。⑲ 商店街の課題を解決する。⑳ 商店街の魅力を伝える。㉑ 商店街の課題を解決する。㉒ 商店街の魅力を伝える。㉓ 商店街の課題を解決する。㉔ 商店街の魅力を伝える。㉕ 商店街の課題を解決する。㉖ 商店街の魅力を伝える。㉗ 商店街の課題を解決する。㉘ 商店街の魅力を伝える。㉙ 商店街の課題を解決する。㉚ 商店街の魅力を伝える。㉛ 商店街の課題を解決する。㉜ 商店街の魅力を伝える。㉝ 商店街の課題を解決する。㉞ 商店街の魅力を伝える。㉟ 商店街の課題を解決する。㊱ 商店街の魅力を伝える。㊲ 商店街の課題を解決する。㊳ 商店街の魅力を伝える。㊴ 商店街の課題を解決する。㊵ 商店街の魅力を伝える。㊶ 商店街の課題を解決する。㊷ 商店街の魅力を伝える。㊸ 商店街の課題を解決する。㊹ 商店街の魅力を伝える。㊺ 商店街の課題を解決する。㊻ 商店街の魅力を伝える。㊼ 商店街の課題を解決する。㊽ 商店街の魅力を伝える。㊾ 商店街の課題を解決する。㊿ 商店街の魅力を伝える。

ポイント3

地域の商店街を調べよう ▶ 班別調査(2)

調査のポイント

① 商店街の歴史や特徴を調べる。② 商店街の現状を調べる。③ 商店街の将来を調べる。④ 商店街の魅力を調べる。⑤ 商店街の課題を調べる。⑥ 商店街の魅力を伝える。⑦ 商店街の課題を解決する。⑧ 商店街の魅力を伝える。⑨ 商店街の課題を解決する。⑩ 商店街の魅力を伝える。⑪ 商店街の課題を解決する。⑫ 商店街の魅力を伝える。⑬ 商店街の課題を解決する。⑭ 商店街の魅力を伝える。⑮ 商店街の課題を解決する。⑯ 商店街の魅力を伝える。⑰ 商店街の課題を解決する。⑱ 商店街の魅力を伝える。⑲ 商店街の課題を解決する。⑳ 商店街の魅力を伝える。㉑ 商店街の課題を解決する。㉒ 商店街の魅力を伝える。㉓ 商店街の課題を解決する。㉔ 商店街の魅力を伝える。㉕ 商店街の課題を解決する。㉖ 商店街の魅力を伝える。㉗ 商店街の課題を解決する。㉘ 商店街の魅力を伝える。㉙ 商店街の課題を解決する。㉚ 商店街の魅力を伝える。㉛ 商店街の課題を解決する。㉜ 商店街の魅力を伝える。㉝ 商店街の課題を解決する。㉞ 商店街の魅力を伝える。㉟ 商店街の課題を解決する。㊱ 商店街の魅力を伝える。㊲ 商店街の課題を解決する。㊳ 商店街の魅力を伝える。㊴ 商店街の課題を解決する。㊵ 商店街の魅力を伝える。㊶ 商店街の課題を解決する。㊷ 商店街の魅力を伝える。㊸ 商店街の課題を解決する。㊹ 商店街の魅力を伝える。㊺ 商店街の課題を解決する。㊻ 商店街の魅力を伝える。㊼ 商店街の課題を解決する。㊽ 商店街の魅力を伝える。㊾ 商店街の課題を解決する。㊿ 商店街の魅力を伝える。

ポイント4

地域の商店街を調べよう ▶ 班別調査(2)

調査のポイント

① 商店街の歴史や特徴を調べる。② 商店街の現状を調べる。③ 商店街の将来を調べる。④ 商店街の魅力を調べる。⑤ 商店街の課題を調べる。⑥ 商店街の魅力を伝える。⑦ 商店街の課題を解決する。⑧ 商店街の魅力を伝える。⑨ 商店街の課題を解決する。⑩ 商店街の魅力を伝える。⑪ 商店街の課題を解決する。⑫ 商店街の魅力を伝える。⑬ 商店街の課題を解決する。⑭ 商店街の魅力を伝える。⑮ 商店街の課題を解決する。⑯ 商店街の魅力を伝える。⑰ 商店街の課題を解決する。⑱ 商店街の魅力を伝える。⑲ 商店街の課題を解決する。⑳ 商店街の魅力を伝える。㉑ 商店街の課題を解決する。㉒ 商店街の魅力を伝える。㉓ 商店街の課題を解決する。㉔ 商店街の魅力を伝える。㉕ 商店街の課題を解決する。㉖ 商店街の魅力を伝える。㉗ 商店街の課題を解決する。㉘ 商店街の魅力を伝える。㉙ 商店街の課題を解決する。㉚ 商店街の魅力を伝える。㉛ 商店街の課題を解決する。㉜ 商店街の魅力を伝える。㉝ 商店街の課題を解決する。㉞ 商店街の魅力を伝える。㉟ 商店街の課題を解決する。㊱ 商店街の魅力を伝える。㊲ 商店街の課題を解決する。㊳ 商店街の魅力を伝える。㊴ 商店街の課題を解決する。㊵ 商店街の魅力を伝える。㊶ 商店街の課題を解決する。㊷ 商店街の魅力を伝える。㊸ 商店街の課題を解決する。㊹ 商店街の魅力を伝える。㊺ 商店街の課題を解決する。㊻ 商店街の魅力を伝える。㊼ 商店街の課題を解決する。㊽ 商店街の魅力を伝える。㊾ 商店街の課題を解決する。㊿ 商店街の魅力を伝える。

高度な集団学習—学び合い・言語活動

溜池 善裕



●ためいけ よしひろ／宇都宮大学教授

●1. 学び合いと三つの課題

中学校学習指導要領の総則には、授業をめぐる三つの課題が示されている。それは「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ」る第1課題。「これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむ」第2課題。「主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努め」る第3課題である。学び合いが注目されているのは、三つの課題を実現する教育方法だからであるが、それを後押しするのが、言語活動が実行できる学び合いの特質である。中学校では、高校受験があることもあり、学び合いに時間を割くことは敬遠されてきた面もあるが、三つの課題を実現するために、授業で生徒を育てるという教育の本道としての役割を果たすべく、取り組んでみてはどうかと思うのである。

●2. 知識及び技能の習得

さて、指導要領には、「これらを活用して」とあることから、第1課題の後に第2課題に取り組むと考えがちである。しかし、道具をよく知る人ほど使い方に長けていることからわかるとおり、知識・技能の活用はその習得のされ方に依存し、活用を経ることで転用可能となり、それをもって基礎的・基本的になると考えるのが自然である。したがって、第1課題と第2課題は、同時に行うべき性質のものなのである。

そんなことができるのか、残る第3課題はどうするのかと、疑念や不安を抱く先生がおられるかもしれないが、昭和初期に北海道・秋田・岩手・宮城・山形・高知・鳥取などの小・中学校(高等小学校)の教師たちが生み出した調べる綴方や、それを受け継いだ『山びこ学校』(岩波文庫)の実践が、それが可能なことを証明している。『山びこ学校』では、中学生が自分の生活を見つめ、地域のことを調べて綴方(作文)を書き、それを発表し合いながら集団で学習を進めているが、学習を通じて生徒たちは改めて教科書の記述をしみじみと味わい、村をよくするためにどうすればよいかについて真剣に話し合っている。教科書の学習と調べ学習とが一体となり、深い知り方に達することで、第3の課題に到達しているのである。

加えて、1958(昭和33)年から子どもの事実を明らかにする授業研究を継続してきた富山市立堀川小学校の実践、社会科の創設に尽力した重松鷹泰によって1948(昭和23)年から形となった奈良女子大学附属小学校の「しごと」実践、重松が創設した学習研究連盟における1970(昭和45)年から1985(昭和60)年にかけての「子どもがする授業」、重松が集めた授業記録のうち「心に残る授業」「授業記録に学ぶ」に代表される実践がある。学び合い、学びの共同体、協同的な学び、アクティブラーニングと言うまでもなく、それは戦前から現場教師が具現化し、戦後も絶えること

なく我が国の学校教育に根付いている、世界に誇れる教育方法なのである。

●3. 具体的な方法

実践研究の蓄積から明らかになっている授業方法を提示しよう。

(1)単元の設定

社会科では、教師が1年間で実施する範囲を見渡し、①生徒たちが取り組みたいテーマ(争いがなくならないのはなぜだろう、世界各地の人々はどのような暮らしをしているのだろうか、社会の仕組みが整うことと人々の幸せはどのように関わっているのだろうか、など)、②生徒たちが話し合える問題(テーマの本質に近く、答えが出ない問題・単元の中核)を予め想定し、生徒たちと相談して学習のテーマを決定する。生徒が、教科書を少し読み進めて口にするテーマは①とほぼ一致する。教師は最終的に②の話し合いが成立するよう指導する。

(2)話し合い(相互学習)

話し合い(相互学習)は、最終的に、①生徒の意外な考えが出る、②生徒の助け合い・協力が著しい、③授業の途中か終わりにしみじみとする感慨がある、の三つを要件とする高度な集団学習—子どもがする授業—to必然的に行き着き、またそうなる必要がある。単元の要所で、教師の出番をなるべく控えた授業を2回程度実施し、最後の話し合いは無発問でのぞむ。

(3)それぞれの追究(一人学習)

相互学習は、各自の一人学習における息の長い追究によって成り立つ。一人学習では、①めあてをもって教科書や資料集などをもとにノートを作る。②自分が学んでいることについて作文を書く。③学習が深まった生徒の作文な

どをもとに考え合う、④一人の生徒の作文をもとに自分の意見を作文に書く、⑤友達の意見を見ながら改めて自分の意見を作る、⑥教師が中心となってこれまでの学習を振り返った後に作文を書く、⑥プリントの穴埋めなど、相互学習に向かうために必要な具体的指導を行う。

(4)書く指導・聴く指導

作文を徹底して書かせる指導が不可欠である。観念的な思考ではなく、具体的であるゆえに矛盾を内包し、しかしそれを解決しようとする粘り強いその生徒らしい思考—個性的思考—が顕れるよう、作文の朱書きを通して指導する。その際、相手を尊重しながら自分の意見や考えを述べて集団を前進させようとする、割り切らずに考え続け学び続けることが生徒たちの身につくよう、さまざまな作文を生徒に発表させ、そのよいところを見つけたり、多様な質問をしたりしながら話をつなげていく指導を行う。

生徒たちが向かうのは、積み重ねられてきた歴史において、名もなき人々がごく普通にあたりまえのことを粛々と営んできた場所、彼らもまた歴史的存在となる場所、それゆえ単元・教材に底流するものと、また教室の仲間と、共存の感情を通わせる場所である。生徒たちは、体当たりの学習を通して学習を知るのであり、その知り方ゆえに学習と生きることが同値となって、第3の課題をはるかに超え、名もなき人々同様、大地に立って生き続けようとするのである。

(以下参照のこと)

溜池善裕「社会科教育における重松鷹泰の授業研究の意義」(『社会科教育研究』no.121, 2014)



第13回

地球となかよし メッセージ

作品募集 (2015年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、
写真 (またはイラスト) にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ!

応募資格	小学生・中学生 (数名のグループ単位での応募も可)
応募期間	2015年7月1日～9月30日 詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。
作品 テーマ	①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境 や生き物を守るための取り組み ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交 流、国際理解に関すること ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催/教育出版 ◎協賛/日本環境教育学会
◎後援/環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞
*協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね
<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

教育出版

「地球となかよし」事務局 TEL 03-3238-6862 FAX 03-3238-6887
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

前回
入選作品

挿し木

私は「挿し木」について考えました。私の家には、枝が長くとても高い「ウンベラータ」という木があります。その木がのびすぎているので、枝を切ってまた小さい木を育てはじめたり、いこにわけたりしています。このように、少しずつ木を増やしていくことによって、酸素がふえて環境にいいことを改めて感じました。しかも、タネから育てるよりも早く大きく育ちます。そして、一つの木から何個かにわけるので、良いところを受けつぐことができます。私の家ではいろいろな木や草、花を育てています。それらは、私たちの生活にかかせない大切なものです。植林などもありますが、身近な家にあるものでも、少しずつ環境にやさしいことをしていきたいです。そして、一人一人が“植物”を大切にすることで、これからの将来につながると 생각합니다。



中学社会通信 Socio express (2015年 春号)

2015年4月15日 発行

編集: 教育出版株式会社編集局
印刷: 大日本印刷株式会社

発行: 教育出版株式会社 代表者: 小林一光
発行所: 教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 電話 03-3238-6864 (お問い合わせ)
URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北3条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一生命ビルディング 3F TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E室 TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411